

全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 センターで輝く！！職員フォトコンテスト2025」審査結果 報告

社会福祉法人 全国社会福祉協議会
全国地域包括・在宅介護支援センター協議会 総務広報委員会

介護保険法が施行されてから25年を迎えます。その後の改正において地域包括支援センターが規定されてから約20年が経ちます。この間、地域包括支援センターに求められる役割・機能は発展してきました。高齢者に寄り添う身近な窓口としてセンターへの親しみや信頼感を高めるためには地域包括支援センターで働く職員の魅力・熱意・人柄を地域住民に伝えることも必要です。

そこで全国地域包括・在宅介護支援センター協議会（藤原秀俊 会長）では、センターで働く職員のモチベーション向上とチームワークの強化も目的として「センターで輝く！！職員フォトコンテスト2025」を開催し、下記のとおり最優秀作品を決定しました。

- 1. 募集期間** : 令和8年8月20日～12月31日
- 2. 募集テーマ** : 現場で輝く一瞬
- 3. 応募対象** : 全国地域包括・在宅介護支援センター協議会に会員登録のある地域包括支援センター職員
- 4. 応募数** : 16件（内訳 ベストスマイル賞候補7件、チームワーク賞候補9件）
- 5. 受賞作品**（最優秀作品）

ベストスマイル賞



タイトル	相談の先に見える安心を、一緒に。
応募センター	山梨県 甲府市南東地域包括支援センター
作品について (応募者より)	相談の裏にある人生を大切に、寄り添う姿勢。センターの原点とも言える傾聴と共感の瞬間を切り取りました。
作品について (審査委員より)	人物の笑顔もしっかりですが、周囲の環境も配慮されており素晴らしいです。

チームワーク賞



タイトル	つながる笑顔
応募センター	大分県 中津市地域包括支援センター三光園
作品について (応募者より)	地域の課題に向き合う、包括支援センターの若手3人。これからの活躍が楽しみです。
作品について (審査委員より)	マスクのない状態とハート♥で愛を伝えるポーズがチームの輪にも繋がりを好評 チームで一つのハートを作られている工夫がチームワーク賞としてふさわしいと感じます